

2026年3月10日

**【地方自治体向け】災害時燃料供給フォーラムを開催します**  
～東日本大震災から15年 教訓を中部の備えへ  
発災から復旧・復興を支える燃料確保に向けて今できることを考える～  
(取材の御案内)

2026年3月11日、東日本大震災の発災から15年という節目を迎えます。

同震災では燃料供給網が大きな被害を受け、深刻なガソリン不足が発生するなど、さまざまな課題が浮き彫りとなりました。被災地域の社会生活や災害時の応急対策活動において、燃料が極めて重要な基盤であることを強く認識させられる出来事でもありました。

本フォーラムでは、当時、現場の最前線に対応したSS(ガソリンスタンド)関係者による講演のほか、基礎自治体における取組や、地域の燃料流通の維持・強化に向けた国の最新の検討状況などについて情報提供を行います。震災時の教訓と最新動向について理解を深め、南海トラフ等の将来の巨大地震に備え、災害時の燃料確保について平時からどのような準備と心構えが必要か、また、地域SSが抱える課題との関与のあり方を考える機会とします。

当日はぜひ、取材をお願いします。

## 1. 開催概要

- (1) 日 時: 2026年3月23日(月曜日)13時00分～15時00分
- (2) 対 象: 愛知県・岐阜県・三重県・富山県・石川県・長野県・静岡県内の  
地方自治体職員  
※商工会・商工会議所や石油商業組合等の方々も御参加いただけます
- (3) 開催形式: オンライン(Microsoft Teams)
- (4) 参加方法: 専用フォームから申込み後に届くメールに記載された会議 URL より参加
- (5) 定 員: 250名(先着順)
- (6) プログラム: 講演及びトークセッション
  - ① 東日本大震災時における現地 SS の対応(福島県伊達市)  
株式会社橘石油 代表取締役 橘 善雄 氏
  - ② 地域燃料流通の維持・強化に向けた取組と自治体連携の意義  
資源エネルギー庁 資源・燃料部 燃料流通政策室長 甲元 信宏
  - ③ 災害時の燃料確保に向けた基礎自治体での取組  
三重県津市 危機管理部 危機管理課長 谷 真 氏
  - ④ 登壇者によるトークセッション  
全登壇者
  - ⑤ 地方自治体における防災の心構え  
三重大学 大学院工学研究科 教授 川口 淳 氏
- (7) 参 加 費: 無料
- (8) 主 催: 中部経済産業局

## 2. 取材・申込方法(プレスの方へ)

(1) 3月17日(火曜日)までに、以下の①～⑤について明記の上、末尾「お問い合わせ」記載のメールアドレス宛て御連絡ください。

入力があったメールアドレス宛てに当日の視聴用 URL 等を送付します。

- ①会社名・支局名
- ②取材者の氏名(ふりがな)
- ③電話番号
- ④メールアドレス
- ⑤参加方法(当局会議室 or オンライン参加)

※プレスの方は当局会議室での御参加及び当局への取材も可能です。

ただし、会議室の定員上、希望が多数の場合、お断りする可能性があります。

## (2) 注意事項

当日はプレスの方に御発言の機会を設ける予定はありません。

終了後、御希望に応じて地方自治体との取材を取り次ぎいたします。

《参考》東日本大震災での状況(提供:全国石油商業組合連合会)



SS に並ぶ給油待ち行列



被災した燃料タンク

(お問合せ先)

中部経済産業局 資源・燃料課長 長村

担当: 鬼頭

電話: 052-951-2781(直通)

メール: bzl-qchbpb@meti.go.jp

参考資料

## 災害時における燃料の重要性

国のエネルギー基本計画において、石油は、「エネルギー密度が高く、備蓄体制が整備され、可搬かつ貯蔵が容易であり、災害時にはエネルギー供給の最後の砦となる、国民生活・経済活動に不可欠なエネルギー源である」と記載されており、石油(燃料)は発災後のあらゆる復旧・復興活動を支える非常に重要なエネルギーです。

下表は、令和6年能登半島地震において、実際に燃料が必要となった場面をまとめたものです。

燃料が必要となるタイミングは目的ごとに異なり、人命救助のような発災直後から必要なものもあれば、倒壊家屋撤去や仮設住宅建設のように発災数か月後～長期間必要となる場合もあります。

発災直後から復興完了まで燃料の安定供給を実現しなければ、これらの活動に支障をきたす恐れもあり、災害時の燃料供給体制を構築することは非常に重要です。

目的	供給対象	油種
人命救助	消防・救急・警察・自衛隊などの緊急車両	ガソリン
道路啓開	バックホウ・ショベルローダーなどの重機	軽油
車中泊	一般車両	ガソリン
避難・移動	一般車両	ガソリン
津波浸水被害の排水	排水機場	重油
重要施設の機能維持	病院・消防・役所などの自家発電設備	軽油、重油
インフラ維持	電源車・移動基地局車など	軽油
避難所の生活環境向上	灯油ストーブ・炊き出し設備・ランドリーカー・シャワーなど	灯油、LPガス
倒壊家屋撤去	バックホウ・大型トラック	軽油
仮設住宅建設	重機類	軽油
港湾復旧	クレーン車など	軽油